石川団地周辺整備基礎調査業務
評価基準(一次審査)

評価項目		評価の着眼点	配点
企業の実績		・過去5年以内の『公民連携導入可能性調査業務』『公有地活用調査業務』等に関する業務実績・実績件数(最大5件)	5
業務の実施体制	予定管理技術者の評価	・技術士(都市及び地方計画)又は一級建築士の登録があるか	4
		・RCCM(都市及び地方計画)又は二級建築士の登録がある	2
		・上記に該当しない場合	0
	主たる予定担当技術者の評価	・過去5年以内の業務実績 ※うるま市または沖縄県内における業務に従事した場合は2点、それ以外は1点とする(地域精通度)	6
		・主たる予定担当技術者の経歴(様式5)で記載のあった実績について、過去5年以内の『公民連携導入可能性調査業務』『公有地活用調査業務』等に関する業務実績(最大3件)	6
		・主たる予定担当技術者の経歴(様式6)で記載のあった実績について、過去5年以内の『公民連携導入可能性調査業務』『公有地活用調査業務』等に関する業務実績(最大3件) ※うるま市または沖縄県内における業務に従事した場合は2点、それ以外は1点とする(地域精通度)	6
合 計			25

- ・一次審査は事業応募者総数が4社以上の場合に実施する。
- ・上位3者には令和6年7月29日(月)までに企画提案書の提出依頼を通知する。
- ・一次審査の点数は、二次審査に引き継ぐものとする。

※「企業実績」「業務実績」等については、実績を証明するもの(契約書、仕様書の写し等)を添付すること。

石川団地周辺整備基礎調査業務
評価基準(二次審査)

評価項目		評価の着眼点	五段階評価 1～5	傾斜 配分	配点
業務理解度		・業務の背景や目的、課題、仕様書の要件等を十分に理解しているか		×2	10
業務工程		業務を効率かつ円滑に遂行できる工程となっているか		×1	5
提案内容に関する評価	的確性	・提案内容が本市のニーズと整合が取れており、着眼点や問題点、解決方法等が網羅されているか		×4	20
	実現性	・提案内容に説得力があり、実現性のある提案がなされているか		×4	20
	独創性	・効果が期待できる取り組みや実現に向けた独自の提案がなされているか		×3	15
プレゼンテーション		・企画提案の内容と整合し、資料が分かりやすく整理されており、プレゼンテーションでその内容が確認できるか、応答内容に的確性があるか		×1	5
合 計					75

受託候補者の選定方法及び最低基準点の設定

- 1 二次審査は、提出された企画提案書等を各選定委員が独立して評価基準に基づき評価・採点し、一次審査及び二次審査の点数の合計に基づく順位点により順位を決定する。
- 2 提出された企画提案書等を各選定委員が独立して評価基準に基づいて評価し、委員の採点の結果、評価点の高い提案者を順位点「4点」、次点を「2点」、3位を「1点」とし、各委員の順位点を合計した結果、合計点が最も高いものを受託候補者とする。
- 3 点数が同点になった場合は、次の方法により順位を決定する。
 - (1) 評価項目「的確性」の点数が高い者を上位とする。
 - (2) (1)で同点の場合は、評価項目「実現性」が高い者を上位とする。
 - (3) (2)で同点の場合は、委員長の配点が高い提案者を受託候補者として選定する。

最低基準点の設定

最低基準点は、各委員の評価点の平均点60点とする。なお、60点に満たない場合は応募が1社であっても選定を見送る。